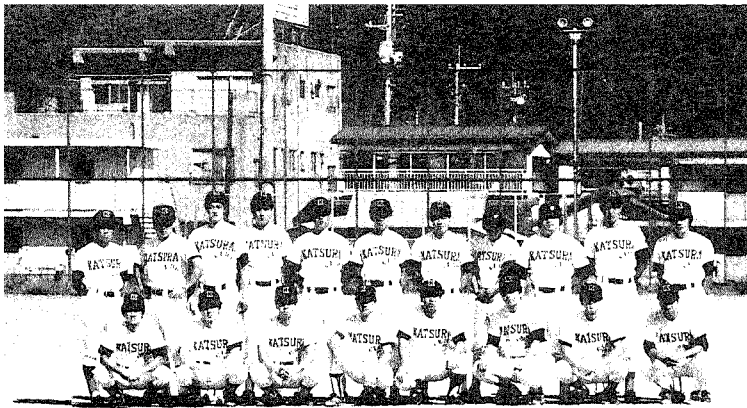


桂クラブ80年の伝統 (下)

都留市野球連盟硬式部
桂クラブ監督 酒井重昌



戦争が日本の敗戦というかたちで終結。食糧難の時代。混乱と虚脱感が人々を支配していた。しかし桂クラブは、生きていた。古いクラブ、傷だらけのバットを持ち寄り練習を始めた。

昭和二十一年、都市対抗野球が復活。翌二十二年、桂クラブは、県予選で優勝、山神静大会に出場。

また、桂のメンバーが加わった谷村LCが軟式野球全国大会で準優勝するなど県内の社会人野球のすべての優勝旗を谷村に持ち帰ったという。さらに、谷村工商（現谷村工）が甲子園に初出場したのもこの年である。

これを機に谷村OBが続々と桂クラブに加入し、チーム力は、さらに高まったのである。

昭和三十年には、都市対抗野球県予選に優勝、山静大会でもノンプロ東芝富士を破り準決勝に進出、大昭和製紙には大敗したが、その大昭和製紙の補強選手としてわが桂クラブの高村和夫中堅手が後楽園に登場したのである。「たった一人の夢舞台」と後に評せられたように県内野球界初の快挙であった。

この前後より社会人野球界では企業チームが主体となり、ク

ラブチームは、地区大会に出場するのがやっとで桂クラブでも昭和四十一年、山静大会に久しぶりに出場したが大昭和、河合楽器、日本楽器（ヤマハ）、金指造船の企業チームにいずれも大敗した。

しかし、昭和五十年代には、クラブ対抗野球大会が開催されるようになり、クラブチームにとって新たな目標が生まれたのである。昭和六十年「桂クラブ七十周年」を機に盛り上がった桂クラブは、翌六十一年の中部連盟クラブ対抗野球大会において念願の初優勝を飾ったのである。

この優勝の原動力となったのは、当時の主将「柏木正男」である。彼は、主将としてチームをまとめトップバッターとして打線爆発の口火を切り、チームを勝利に導いてくれたのである。

また、前年の都市対抗本大会で旋風を巻き起こした岩手県経済連をあわやのところまで追い詰めたのもこの年である。

今回の「桂クラブ八十周年」の函館大洋（オーシャン）倶楽部との記念試合は、柏木の夢であり希望であった。彼は、平成四年九月十七日、突然の事故でこの世を去ったが彼がグラウンドで最も多く口にした「集中集中」の大声は、今でも我々の耳に残っている。

八月十九日、桂クラブは、彼の魂が眠る楽山球場において一球入魂の心構えて記念試合に臨む。

国際ソロプチミストW H W賞受賞

市内中央の珠久やすさん(88)が女性の地位向上や就労の機会均等に尽くした成人女性に贈られる国際ソロプチミストアメリカ日本東リジョン一九九四年度のW H W賞に選ばれました。

珠久さんは、母子家庭のために行政に働き掛け様々な制度を実現、安定した職場を得るため四十年に

は都留文科大学生食堂経営権の委託を受けるなど、まさにこの賞に最適と、国際ソロプチミスト山梨―芙蓉（水島幸子会長）の推薦を受けました。八十八歳の今も朝八時から夜遅くまで人の和を何よりも大切に、変わらぬ情熱を込めてお仕事に励んでおられます。

能力開発講座

○パソコン講座

(MS-DOS) 初級
日程 9月21・22・25・26日
時間 午後6時～8時50分
定員 20人
受講料 2000円

受付期間 各講座とも開講日の7日前まで、ただし定員にあれば締め切ります。

問合せ先 県立都留能力開発センター
☎(43)8911
FAX(43)8912

ワープロ講座

○新QCの7つの道具
日程 9月25・27・29日
時間 午前9時～午後4時
定員 10人
受講料 2000円

日時 9月5・6・7・12・13
・14日
午後6時30分～8時30分
場所 大月市御太刀 一丁目16-2

○効果的な話し方とコミュニケーション

日程 9月25・26・28・29日
10月2・3日
時間 午後6時～8時
定員 10人
受講料 1000円

申込先 官製はがきに住所、氏名、電話番号を記入の上、8月31日までに必着
費用 2000円(資料代)
問合せ先 大月短大附属高校内 原田・望月
☎(22)5611